

奄美図書館だより

平成25年3月1日発行
第261号 (3月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 TEL0997-52-0244

HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクール 受賞作品集 完成

第9回(2012年度)ネリヤカナヤ創作童話コンクールの入賞作品53点(最優秀賞7点, 優秀賞18点, 佳作28点)と応募者全員の氏名・作品名を掲載した「第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクール受賞作品集〜奄美の小さな童話作家たち〜」が出来上がりました。

今回の作品集には、千葉県浦安市立中央図書館の伊藤明美さんから「自然の宝と人の宝」と題して、「物語という人類の宝物を集めたところが、図書館です。学校の図書室や町の図書館で、あなただけの宝物に出会ってください。(中略)奄美の自然の宝物と、昔話や物語という宝物を大切に楽しんで、またすてきなおはなしを書いてください。」とメッセージをいただきました。

また、表紙絵は、龍郷町立赤徳中学校2年の瀬戸口真由さんの作品「学校周辺の風景」(「第63回鹿児島県図画作品展」奄美地区特選)です。

作品集は、大島地区の小・中学校、高等学校、大島養護学校、県内の市町村立図書館、公民館図書室へ配布いたします。また、県立奄美図書館でも、1階児童閲覧室・2階郷土コーナーにて閲覧・貸出をいたしますので、ぜひ、読んでいただきたいと思います。奄美の豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちのすばらしい感性を感じることができると思います。

なお、第1回からのネリヤカナヤ創作童話コンクール応募作品のすべては、県立奄美図書館にて製本・保存しており、いつでも閲覧することができます。そして、第1回から第8回までの受賞作品集も閲覧・貸出をすることができます。さらに、県立奄美図書館ホームページには、第1回から第9回のネリヤカナヤ創作童話コンクールで最優秀賞を受賞した作品を掲載しています。

最後になりましたが、第9回ネリヤカナヤ創作童話コンクールの実施と作品集発刊にあたり、御理解と御協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。



厳訓無処罰の教育 たつの てい い ち 「龍野 定一」

龍野定一は、明治22年に徳之島町亀津に生まれました。「最低額の月賦で何年かの後には、最も確実に最高最大の成功をおさめることのできる最良の方法は、教育を受け学問に励むことであるから、貧しい時は何よりも教育を受けるのがよい。」定一は、このような両親の考えを受け、今の甲南高校の前身である旧制二中に進みました。父の教訓から、先ず自分の力を養い、次にできるだけ多くの友達と協力することを決心し、勉学に励みました。

定一は、二中を卒業すると広島的高等師範学校に進み、大正2年に卒業すると、福岡県立東筑中学校教諭となりました。定一が赴任して間もなく、定期試験のカンニングが発端となり、一緒に赴任した同僚に対するストライキ事件に発展し、多数の生徒が退学転校を命ぜられました。

定一は、校門を出て行く生徒の後ろ姿を見て気の毒にたえず、「泥水土塊を洗う」という禅家の語を思い出し、「努力次第では無処罰無試験の教育を実施することができる」と考えました。そして、訓育しつけの力量をつけるために、全国の名校長を求めて転任し、また、貧しい地域の教育も経験し、教育感化の力は警察権にも勝って強いものがあることを体験自覚しました。

定一が大島中学校に校長として赴任したのは、大正13年8月のことです。その年、大島中学校では、様々な事件が相次ぎ、次々に多数の生徒が退学放校の処罰を受け、廃校の問題まで議論されるにいたっていました。

定一は、就任直後の職員会議で新方針を説明し、全校生徒に対しては新任式で、次の10項目の話をしました。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 決して処罰はしない | 2 善悪の弁、あやまる、ゆるす |
| 3 仲良く、正直に | 4 賞罰など気にするな |
| 5 しくじってもよい | 6 過ったら改めよ |
| 7 生徒自治会、自治自由と責任 | |
| 8 一人残らず運動競技を | |
| 9 勤労作業の訓練 | 10 図書室と無試験の実施 |

定一が十数年間温め続けた「厳訓無処罰の教育」が始まりました。定一の在職6年間で、師弟和親、学友共励の平和な安楽学園ができあがったのでした。

その龍野定一校長の銅像が今でも正門近くに立って、大高を見守っています。

インターンシップ 職場体験学習



奄美図書館では、毎年、高等学校・中学校の生徒がインターンシップ・職場体験学習を行っています。平成24年度も、奄美高等学校・小宿中学校・東城中学校・大川中学校・朝日中学校、金久中学校・大島養護学校の7校21名の生徒が、カウンター業務・本の装幀・新聞製本作業・書庫の整理・「おはなしの森」での読み聞かせ等の様々な仕事を体験しました。

終了した時には、「職場体験に来るまでは、図書館の仕事は、子どもへの本の読み聞かせや本の整理ばかりだと思っていましたが、いろいろな仕事があることを知りました。」「実習をとても楽しみにしていました。新聞をまとめたり、本のラベルを貼ったり、地味で大変な仕事ばかりでした。」「きれいに分類されて、本を探しやすいように工夫されていることを知りました。」「読み聞かせでは緊張したけれど、子どもたちも喜んでくれたと思います。」等の感想も聞くことができました。一人一人が仕事の大変さや楽しさを味わったり、図書館の役割について考えてくれたりして、多くのことを学んでくれたと思います。

職場体験での経験を、学校生活や他の場できっと活かしていることと思います。



3月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
3	2	土	むかしばなしの会 10:00～ ろんど文章教室 14:00～
	4	月	休館
	6	水	おはなしの森 15:30～
	8	金	育児サークル「こっちむいて」10:00～
	11	月	休館
	13	水	おはなしの森 15:30～
	14	木	青嶺短歌会 13:00～17:00
	16	土	あまみ子どもライブラリー 10:00～ 読書会「島にて」 10:00～12:00
	18	月	休館
	20	水	おはなしの森 15:30～
	24	日	奄美郷土研究会 14:00～16:30
	25	月	休館
	26	火	休館(整理研修)
	27	水	おはなしの森 15:30～
4	21	日	一日図書館長 こどもの読書週間企画展 ～5/12
	27	土	本もともだちおはなし会

4月の休館日予告

1日(月)・8日(月)・15日(月)・
22日(月)・25日(木)・30日(火)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

どっかんだいこん
いわさ ゆうこ 童心社
どうぶつえんのおふろやさん
とよた かずひこ ひさかたチャイルド
おとのさまのじてんしゃ
中川 ひろたか 佼成出版社
雲こよみ
高橋 健司 山川出版社
100の知識世界を変える発明
ダンカン・ブルーワー 文研出版
いのちをつなぐ
大木 トオル 岩崎書店
その他72冊

郷土関係

鹿児島学
岩中 祥史 草思社
琉球列島の環境問題
沖縄大学地域研究所共同研究班編 高文研
その他8冊

おすすめの本

ドラゴンのなみだ

佐々木 ひとみ 学研教育出版
祖父の住む村へ「鳥追い」という祭りの手
伝いに行った歩。歩は、その村でドラゴンの
ようにおこりっぽい女の子、真琴に出会いま
す。「鳥追い」とは、鳥を追ひ払うほどの豊作
でありますように・・・と祈願する祭りです。
歩と真琴は、一緒に祭りの準備をするので
すが、全く気が合わず、苦労が絶えません。し
かし、準備を進めるうちに、真琴のおこる理
由が分かってきました。そして二人は、少し
ずつ交流を深めていきます。友達の大切さが、
切ないほどに伝わってくる作品です。

一般

聞く力
阿川 佐和子 文藝春秋
いのちより大切なもの
星野 富弘 いのちのことは社ワレストブックス
オツな日本語
金田一 秀穂 日本文芸社
その他140冊

小説・随筆

歓喜の仔 上・下
天童 荒太 幻冬舎
けさくしゃ
畠中 恵 新潮社
この君なくば
葉室 麟 朝日新聞出版
老年力
三浦 朱門 海竜社
その他38冊

進学・ビジネス支援

はじめての労働法
尾崎 哲夫 自由国民社

孤愁一サウダーデ

新田 次郎／藤原 正彦 文藝春秋
新田次郎さんの絶筆となった作品。毎日新
聞連載中にお亡くなり、未完のまま30年の時
が過ぎた小説でした。「未完となった父の絶筆
を、息子である自分の手で完成させたい」と
いう思いで、新田さんの次男、藤原正彦さん
が、その続きを執筆し、昨年、新田次郎生誕
100周年の記念の年に完成させた作品です。
明治時代から大正時代の美しい日本の風景
や日本人の誇りを、書物で欧米に紹介したポ
ルトガル人の外交官モラエスの生涯を描いた
作品です。